

令和7年度四国中央市健康づくり推進協議会 議事録

日 時：令和7年7月31日(木) 午後1時30分～午後2時15分

場 所：四国中央市保健センター1階 集団指導検診室

出席者：【委員】

藤田新（宇摩医師会長）、三宅繁博（市議会総務市民委員長）、
高橋洋一（宇摩歯科医師会長）、蓮井雅浩（宇摩医師会理事）、
影山康彦（四国中央保健所長）、河村英茂（教育委員会教育長）、
井上彰（社会福祉協議会監事）、越智光三（公民館連絡協議会会長）、
進藤文子（老人クラブ連合会）、藤田貞子（食生活改善推進協議会長）

以上10名

【事務局】

星川市民部長、（保健推進課）則友課長、大西、川崎、深川
（医療対策課）合田課長、石川

以上、7名

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 事務局自己紹介
- 5 委員長挨拶
- 6 協議事項

（1）令和6年度四国中央市保健事業、予防接種事業報告について

【事務局説明】

資料により説明

【質疑】

意見なし。

（2）令和7年度保健事業、予防接種事業目標・計画について

【事務局説明】

資料により説明

【質疑】

委 員：妊娠期はホルモンバランスの変化や不規則な食生活による歯周病悪化や虫歯が増える時期のため妊婦歯科検診が実施されているが、歯周病の前病変である歯肉炎については中学校ぐらいの頃からの予防が大事じゃないかと考えている。プレコンセプションケアの一環として、歯肉炎の部分も是非、教育の中に入れていただければありがたい。

それともう一点、子どもの健診は1歳から1歳半までの間に検診がなく、その間には離乳食も終わってしまっている。現在高齢者の食べにくい飲み込みにくいことへの対応はあるが、子どもの食べにくい飲み込みにくいことへの対応は今のところない。10か月ぐらいの、離乳食が始まっている、与えているぐらいの時期に口腔機能の飲み込みとか咀嚼の部分に注目した健診事業

のようなものがあればよいと思うので提案させていただきたい。

事務局：思春期における教育というところで、現在、思春期教室の中では性教育がメインになっているが、プレコンセプションケア全体としては歯の健康は入ってくるところであり、今後資料内容等の検討をしていきたい。また、離乳食期のお子さんの歯の健康とそこからの健康ということについても先生方に相談させていただきながら検討していきたいと考えている。

委員：定期予防接種について高齢者帯状疱疹も補助対象となったが、接種の数をみると高齢者のインフルエンザはかなり多いが新型コロナや肺炎球菌については少ない。高齢者で国民年金だけの人については4,000円や3,000円の自己負担は大きい。もっと少額の自己負担で受けられるような市の支援を今後検討していただきたい。

事務局：自己負担額については、愛媛県下で統一という形で定めさせていただいている。接種率については、インフルエンザについては高く、新型コロナウイルスワクチンなどの自己負担額が若干高いものは下がっているのが実情である。費用負担の部分については、下げることができるよう検討を行いながら、四国中央市から声を上げていくことも視野に考えていきたい。

(3) その他

意見なし。

7 閉会（閉会挨拶：星川市民部長）